

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2019年8月14日

【四半期会計期間】 第61期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社ジー・テイスト

【英訳名】 G.taste Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 阿久津 貴史

【本店の所在の場所】 名古屋市北区黒川本通二丁目46番地

【電話番号】 052(910)1729

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 稲角 好宣

【最寄りの連絡場所】 名古屋市北区黒川本通二丁目46番地

【電話番号】 052(910)1729

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 稲角 好宣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第60期 第1四半期 連結累計期間 | 第61期 第1四半期 連結累計期間 | 第60期 |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日 | 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 5,488,529 | 6,847,402 | 24,798,471 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 14,119 | 57,496 | 265,807 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失 () (千円) | 188,719 | 50,137 | 704,057 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 188,719 | 50,072 | 704,434 |
| 純資産額 (千円) | 9,251,942 | 8,589,291 | 8,733,013 |
| 総資産額 (千円) | 20,292,875 | 21,836,284 | 22,425,426 |
| 1株当たり四半期(当期)純損失 金額 () (円) | 0.99 | 0.26 | 3.68 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 45.4 | 39.1 | 38.8 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続き、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦など海外の政治・経済情勢の不確実性から先行きの不透明感が一層強まっている状況にあります。

当業界におきましては、依然として消費者の強い節約志向に加え、労働力不足による人件費の上昇・原材料価格の高騰などにより、引き続き極めて厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当社グループでは、グループ全体としてQSCの強化を図り、さらに外食事業においては、安心、安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化と併せ、ブランド力が高い業態への業態転換、新規出店やFC加盟開発の強化に努めてまいりました。

当社の主要外食業態の状況といたしまして、焼肉事業においては当第1四半期連結累計期間においても、引き続き堅調に推移いたしました。同期間において、国産牛焼肉食べ放題「肉匠坂井」業態を直営2店舗、FC2店舗出店し、6月末現在37店舗（直営29店舗、FC8店舗）となり、計画通り、順調にその店舗数を伸ばしてきております。今後も積極出店を継続させるとともに、YouTubeを利用したメディア戦略等にも取り組み、更にお客様にご満足を頂ける業態確立を目指していくことで、「焼肉屋さかい」とともに、焼肉事業を当社の主力事業として注力してまいります。

また、前連結会計年度において、M&Aにより子会社となった株式会社壁の穴では、有名シェフとのコラボレーションや、虎杖浜のたらこ、国産アサリ、淡路島の天然しらすなど、食材見直しによる顧客満足向上へ取り組んだほか、株式会社テンフォーでは、北海道×三重のコラボピザ（花咲ガニ×松阪牛）などの新商品の提供と併せ、従来より親しまれているメニューの復刻を行うなど、各社においては、従来からの顧客に向けた満足度向上と併せ、新規顧客獲得に注力を行ってまいりました結果、特に堅調に推移したことにより、当社グループの業績に大きく寄与することになりました。

当第1四半期連結累計期間における当グループの直営店舗数は、契約期間満了、不採算店の整理に伴い12店舗を閉店したものの、業態転換を8店舗（焼肉業態2店舗、ファストフード業態4店舗、寿司業態1店舗、レストラン業態1店舗）、新規出店3店舗（ファストフード業態1店舗、レストラン業態1店舗、FCからの買取1店舗）を実施し、428店舗となりました。なお、FC253店舗を加えた総店舗数は計681店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高68億47百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益35百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常利益57百万円（前年同期は経常損失14百万円）、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額79百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億88百万円）となりました。

なお、当社グループは「外食事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

財政状態につきましては、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、218億36百万円となり、前連結会計年度末と比較し、5億89百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債総額は、132億46百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4億45百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金、未払法人税等、その他（流動負債）の減少によるものであります。

純資産額は、85億89百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億43百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 673,477,576 |
| 計 | 673,477,576 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年8月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 197,051,738 | 197,051,738 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 197,051,738 | 197,051,738 | | |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2019年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年4月1日～ 2019年6月30日 | | 197,051 | | 100,000 | | 100,000 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 5,544,200 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 191,440,200 | 1,914,402 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 67,338 | | |
| 発行済株式総数 | 197,051,738 | | |
| 総株主の議決権 | | 1,914,402 | |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数22個が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ジー・テイスト | 名古屋市北区黒川本通 二丁目46番地 | 5,544,200 | | 5,544,200 | 2.81 |
| 計 | | 5,544,200 | | 5,544,200 | 2.81 |

(注) 上記のほか、単元未満株式75株を所有しています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、なぎさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,464,057 | 5,067,531 |
| 受取手形及び売掛金 | 393,301 | 358,706 |
| 商品及び製品 | 87,581 | 106,647 |
| 仕掛品 | 4,285 | 3,309 |
| 原材料及び貯蔵品 | 295,997 | 288,061 |
| その他 | 825,471 | 680,193 |
| 貸倒引当金 | 13,314 | 12,920 |
| 流動資産合計 | 7,057,381 | 6,491,529 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,680,249 | 4,839,419 |
| 土地 | 4,215,419 | 4,215,419 |
| その他(純額) | 636,148 | 598,618 |
| 有形固定資産合計 | 9,531,818 | 9,653,457 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,313,753 | 1,277,600 |
| その他 | 166,952 | 177,697 |
| 無形固定資産合計 | 1,480,705 | 1,455,298 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,299,162 | 3,258,569 |
| その他 | 1,484,790 | 1,401,027 |
| 貸倒引当金 | 428,430 | 423,597 |
| 投資その他の資産合計 | 4,355,521 | 4,235,999 |
| 固定資産合計 | 15,368,045 | 15,344,755 |
| 資産合計 | 22,425,426 | 21,836,284 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 960,321 | 795,480 |
| 短期借入金 | 300,000 | 300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 940,980 | 1,010,457 |
| 1年内償還予定の社債 | 908,000 | 718,000 |
| 1年内償還予定の新株予約権付社債 | 1,994,477 | 1,995,901 |
| 未払法人税等 | 106,848 | 23,840 |
| 引当金 | 123,962 | 84,846 |
| 資産除去債務 | 83,970 | 42,899 |
| その他 | 1,995,724 | 1,884,955 |
| 流動負債合計 | 7,414,285 | 6,856,380 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,718,000 | 1,638,000 |
| 長期借入金 | 2,952,238 | 3,154,425 |
| 関係会社長期借入金 | 15,760 | 15,760 |
| 引当金 | 431 | 575 |
| 退職給付に係る負債 | 98,536 | 92,286 |
| 資産除去債務 | 951,217 | 958,186 |
| その他 | 541,943 | 531,378 |
| 固定負債合計 | 6,278,127 | 6,390,612 |
| 負債合計 | 13,692,412 | 13,246,993 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 8,809,823 | 8,809,823 |
| 利益剰余金 | 577,836 | 431,946 |
| 自己株式 | 793,613 | 793,613 |
| 株主資本合計 | 8,694,046 | 8,548,155 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 376 | 311 |
| その他の包括利益累計額合計 | 376 | 311 |
| 新株予約権 | 39,344 | 41,447 |
| 純資産合計 | 8,733,013 | 8,589,291 |
| 負債純資産合計 | 22,425,426 | 21,836,284 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

| | (単位：千円) | |
|-------------------------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
| 売上高 | 5,488,529 | 6,847,402 |
| 売上原価 | 1,776,179 | 2,164,478 |
| 売上総利益 | 3,712,350 | 4,682,923 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,727,274 | 4,647,105 |
| 営業利益又は営業損失() | 14,923 | 35,818 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,668 | 1,820 |
| 受取配当金 | 439 | 516 |
| 業務受託料 | 14,362 | 13,514 |
| 受取解約金 | - | 6,250 |
| 受取保険金 | 7,630 | 33,803 |
| 為替差益 | 9,043 | - |
| その他 | 4,174 | 7,156 |
| 営業外収益合計 | 37,319 | 63,061 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,162 | 13,791 |
| 貸倒引当金繰入額 | 3,315 | 4,077 |
| 支払手数料 | 15,125 | 15,125 |
| その他 | 9,911 | 16,543 |
| 営業外費用合計 | 36,515 | 41,382 |
| 経常利益又は経常損失() | 14,119 | 57,496 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 18 | - |
| 特別利益合計 | 18 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,195 | - |
| 店舗閉鎖損失 | 4,458 | 12 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 111,372 | 1,242 |
| 減損損失 | 56,979 | 1,952 |
| 特別損失合計 | 174,006 | 3,208 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 188,107 | 54,288 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,684 | 24,905 |
| 法人税等調整額 | 14,072 | 79,519 |
| 法人税等合計 | 612 | 104,425 |
| 四半期純損失() | 188,719 | 50,137 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() | 188,719 | 50,137 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失() | 188,719 | 50,137 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | - | 64 |
| その他の包括利益合計 | - | 64 |
| 四半期包括利益 | 188,719 | 50,072 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 188,719 | 50,072 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形 | 1,304千円 | 1,181千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 116,610千円 | 153,325千円 |
| のれんの償却額 | 4,666千円 | 37,365千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 95,670 | 0.5 | 2018年3月31日 | 2018年6月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 95,753 | 0.5 | 2019年3月31日 | 2019年6月24日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは「外食事業」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは「外食事業」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 0円99銭 | 0円26銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 188,719 | 50,137 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 188,719 | 50,137 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 191,341 | 191,507 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

重要な事業の譲受(取得による企業結合)

当社は、2019年6月28日付で、株式会社エムグラントフードサービスのステーキハンバーグ&サラダバーけん事業を譲受けることを決定し、2019年7月1日付で事業の譲受を実行いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び取得した事業

相手先企業の名称 株式会社エムグラントフードサービス
事業の内容 ステーキハンバーグ&サラダバーけん事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループ内の外食事業におけるステーキ事業の拡大を図るため、株式会社エムグラントフードサービスのステーキハンバーグ&サラダバーけん事業を譲り受けることといたしました。

(3) 企業結合日

2019年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

(5) 結合後企業の名称

株式会社ジー・テイスト

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする事業譲受であるためであります。

2. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳(消費税等込)

取得の対価(現金) 50,000千円
取得原価 50,000千円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間又は負ののれん発生益の金額及び発生原因

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

重要な事業の譲受（取得による企業結合）及び貸付

2019年5月10日付で合併会社（「株式会社ふらんす亭」）を設立いたしました（資本金：1,000千円、当社議決権割合45%）、2019年6月28日付の当社の取締役会において、同社が株式会社フードデザインのふらんす亭事業を譲受けることを決定し、同年7月1日付で事業の譲受けを実行しております。

また、2019年6月28日付の当社の取締役会において、当該事業譲受に際し、取得代価及びふらんす亭事業の運転資金として130,000千円を同社に貸付けることを決定し、同年7月1日付で貸付けを実行しております。

なお、実質的支配力基準により、同社は第2四半期連結会計期間より連結子会社に該当することとなりました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び取得した事業

相手先企業の名称 株式会社フードデザイン
事業の内容 ふらんす亭事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループ内の外食事業におけるステーキ事業の拡大を図るため、株式会社フードデザインのふらんす亭事業を譲り受けることといたしました。

(3) 企業結合日

2019年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

事業譲受

(5) 結合後企業の名称

株式会社ふらんす亭

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする事業譲受であるためであります。

(7) その他

株式会社ふらんす亭に対する資金の貸し付け

資金用途 ふらんす亭事業の譲受代価及びふらんす亭事業の運転資金

貸付金額 130,000千円

貸付日 2019年7月1日

返済期日 2024年12月末日

利率 年3.0%

2. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳（消費税等込）

取得の対価（現金） 68,000千円

取得原価 68,000千円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間又は負ののれん発生益の金額及び発生原因

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

2 【その他】

2019年5月15日開催の取締役会において、2019年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 95,753千円

1株当たりの金額 0円50銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2019年6月24日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月14日

株式会社ジー・テイスト
取締役会 御中

なぎさ監査法人

| | | | | | | |
|----------------|-------|---|---|---|---|---|
| 代表社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 山 | 根 | 武 | 夫 | 印 |
| 業務執行社員 | 公認会計士 | 西 | 井 | 博 | 生 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジー・テイストの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジー・テイスト及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

1. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、2019年7月1日付で株式会社エムグラントフードサービスのステーキハンバーグ&サラダバーけん事業を譲り受けている。
2. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、2019年7月1日付で、関係会社の株式会社ふらんす亭に対して貸付けを実行し、同日、同社は、株式会社フードデザインのふらんす亭事業を譲り受けている。

上記事項は、いずれも当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。